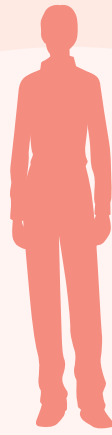


日本では、3世帯に1世帯がひとり暮らし。



3

「单身者の暮らしを考える」

「ひとり暮らし」の世帯は3世帯に1世帯となり、今後、さらに増加することが予想されています。生涯にわたるひとり暮らしも多くなり、もはやライフスタイルの選択肢のひとつとなっています。一方で、離死別などによってひとり暮らしになるリスクも高く、生活保障や社会的孤立への関心が高まっています。本講演会では、单身者が増加している社会的背景や、大都市の若年单身者の消費や意識などのライフスタイル、そして今後の動向や求められる対策などについて多角的に論じていただきます。

➤ 若年单身者の家計力
重川 純子 埼玉大学教育学部 教授

➤ 「单身急増社会」を考える ～单身世帯の現在と将来～
藤森 克彦 みずほ情報総研株式会社 主席研究員

2011年11月28日(月) 15:00～17:00【入場無料】

■ 会場：学士会館(203号室)

■ 住所：東京都千代田区神田錦町3-28 ■ 最寄り駅：「神保町」駅から徒歩1分／「竹橋」駅から徒歩5分

【お申し込み方法】

- 参加希望者全員のお名前（ふりがな）、ご住所を明記の上、Eメール、FAXまたは郵便はがきでお申し込みください。後日、入場整理券をお送りいたします。
※ 個人情報は当講演会の開催以外の目的には使用いたしません。
- 定員：100名（お申し込み先着順）

【お申し込み・お問い合わせ先】

- 〒102-0073 東京都千代田区九段北2-3-7 前川九段ビル3階 公益財団法人 家計経済研究所 第47回公開講演会係
- TEL 03-3221-7291 ● FAX 03-3221-7255
- Eメール info@kakeiken.or.jp
- URL <http://www.kakeiken.or.jp>

講師のご紹介



しげかわ じゅんこ

重川 純子 埼玉大学教育学部 教授

お茶の水女子大学大学院修了。家計経済研究所研究員を経て、現在、埼玉大学教育学部教授。専門は、家庭経済学、生活経営学。家計統計の他、個別家計の長期的な家計記録（家計簿）を用いての家計に関する研究、家庭経済教育に関する研究を行っている。

〔著書〕

『家計研究へのアプローチ』（ミネルヴァ書房／共著）

『生活の経済』（放送大学教育振興会／編著）

『家計簿からみた近代日本生活史』（東京大学出版会／共著）



ふじもり かつひこ

藤森 克彦 みずほ情報総研株式会社 主席研究員

1992年、国際基督教大学大学院行政学研究科修了後、富士総合研究所（現みずほ情報総研）入社。社会調査部、ロンドン事務所研究員（1996年～2000年）などを経て、現在、みずほ情報総研社会保障・藤森クラスター主席研究員。専門分野は、社会保障政策・労働政策。

〔著書〕

『単身急増社会の衝撃』（日本経済新聞出版社）

『マニフェストで政治を育てる』（雅粒社／共著）

『構造改革ブレア流』（TBSブリタニカ）など

会場のご案内

学士会館（203号室）

東京都千代田区神田錦町3-28

地下鉄都営三田線・新宿線

東京メトロ半蔵門線

「神保町」駅A9出口から徒歩1分

東京メトロ東西線

「竹橋」駅3a出口から徒歩5分

